



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 花月園観光株式会社

コード番号 9674 URL <http://www.kagetsuenkanko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 嘉之輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 堤 道雄

TEL 045-228-8860

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	667	71.7	42	39.4	33	65.8	44	162.8
28年3月期第3四半期	388	34.4	30	△60.3	20	△74.0	17	△77.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	2.55	—
28年3月期第3四半期	0.97	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
29年3月期第3四半期	1,575	54.62	959	54.62	60.9	54.62
28年3月期	1,617	51.83	911	51.83	56.3	51.83

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 959百万円 28年3月期 911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	892	41.9	57	5.2	46	12.8	54	—	3.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	17,666,000 株	28年3月期	17,666,000 株
29年3月期3Q	90,002 株	28年3月期	89,655 株
29年3月期3Q	17,576,280 株	28年3月期3Q	17,576,973 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(2) 追加情報	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向にあるものの、アジア新興国経済の減速懸念や、米国の新政権による経済政策の影響などによる世界経済の不確実性が高まっており、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社が事業の主体をおく競輪業界におきましても、依然として厳しい状況が続いております。このような状況のもと当社は、顧客サービスの向上に取り組むとともに、各サテライトの更なる効率的な管理・運営に努め増収を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は6億6千7百万円(前年同四半期比 71.7%増)となりました。営業利益は4千2百万円(前年同四半期比 39.4%増)、経常利益は3千3百万円(前年同四半期比 65.8%増)、四半期純利益は繰延税金資産の計上に伴い法人税調整額△1千8百万円を計上したこと等により4千4百万円(前年同四半期比 162.8%増)となりました。

なお、当社は、公営競技関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略いたしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2億4千万円(前事業年度末 2億3千3百万円)となり前事業年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1千5百万円減少いたしました。売掛金が4百万円、立替金が6百万円、繰延税金資産が1千万円増加したことによるものであります。固定資産は13億3千4百万円(前事業年度末 13億8千3百万円)となり、前事業年度末に比べ4千9百万円減少いたしました。これは主に、減価償却により有形固定資産が3千万円、のれんの償却により無形固定資産が2千3百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は15億7千5百万円(前事業年度末 16億1千7百万円)となり、前事業年度末に比べ4千2百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1億7千5百万円(前事業年度末 1億8千1百万円)となり前事業年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が8百万円増加しましたが、リース債務が9百万円、未払法人税等が3百万円減少したことによるものであります。固定負債は4億4千万円(前事業年度末 5億2千5百万円)となり、前事業年度末に比べ8千5百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が5千1百万円、長期リース債務が1千8百万円、繰延税金負債が5百万円、退職給付引金が4百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、6億1千5百万円(前事業年度末 7億6百万円)となり、前事業年度末に比べ9千1百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は9億5千9百万円(前事業年度末 9億1千1百万円)となり、前事業年度末に比べ4千8百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益が4千4百万円あったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月8日に公表いたしました業績予想について本資料において修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期累計期間の四半期財務諸表に与える影響はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	126,215	110,908
売掛金	92,655	97,040
繰延税金資産	—	10,508
その他	14,632	22,160
流動資産合計	233,503	240,618
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	376,722	359,004
構築物(純額)	16,688	15,915
土地	443,206	443,206
リース資産(純額)	13,018	3,238
その他(純額)	7,806	5,940
有形固定資産合計	857,442	827,305
無形固定資産		
のれん	285,234	261,465
その他	6,405	5,308
無形固定資産合計	291,640	266,773
投資その他の資産	234,727	240,485
固定資産合計	1,383,810	1,334,565
資産合計	1,617,314	1,575,183
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	89,850	98,100
リース債務	34,632	24,744
未払金	41,436	40,112
未払法人税等	6,973	3,124
未払消費税等	6,103	6,721
預り金	1,941	2,099
その他	130	134
流動負債合計	181,067	175,036
固定負債		
長期借入金	392,450	341,225
リース債務	75,856	57,200
繰延税金負債	19,058	13,125
退職給付引当金	22,558	17,613
負ののれん	6,594	3,470
その他	8,669	7,534
固定負債合計	525,187	440,169
負債合計	706,254	615,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,300	883,300
資本剰余金	399,649	399,649
利益剰余金	△374,668	△329,786
自己株式	△10,816	△10,852
株主資本合計	897,465	942,310
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,594	17,667
評価・換算差額等合計	13,594	17,667
純資産合計	911,059	959,977
負債純資産合計	1,617,314	1,575,183

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	388,971	667,853
売上原価	159,687	364,059
売上総利益	229,284	303,793
販売費及び一般管理費	199,158	261,785
営業利益	30,125	42,008
営業外収益		
受取利息	3,032	1,017
受取配当金	1,299	1,041
負ののれん償却額	3,123	3,123
その他	287	782
営業外収益合計	7,742	5,964
営業外費用		
支払利息	17,788	14,679
営業外費用合計	17,788	14,679
経常利益	20,080	33,293
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	173	—
特別利益合計	173	—
税引前四半期純利益	20,254	33,293
法人税、住民税及び事業税	3,176	6,624
法人税等調整額	—	△18,213
法人税等合計	3,176	△11,588
四半期純利益	17,077	44,881

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。